

# 全部床義歯補綴学 (C3150)

第3学年（前期・後期）  
講義 必修

## 【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘  
講師：吉田裕哉  
助教：霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏  
特任教授：鷹股哲也  
非常勤講師：菅沼岳史

## 【一般目標（GIO）】

1. 頭頸部・口腔領域の基本的な構造と機能を理解するとともに、歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する修復の臨床的意義と方法を理解する。
2. 無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的・機能的変化を全部床義歯により、いかに回復し、維持するかを理解するとともに、全部床義歯補綴治療に必要な知識と技法を習得する。

## 【行動目標（SBOs）】

1. 顎口腔系の概念を理解し、説明できる。
2. 咬合について有歯顎、無歯顎者を区別し説明できる。
3. 全部床義歯製作の流れを説明できる。
4. 全部床義歯による処置法の詳細な臨床技法について理論および手技を説明できる。

## 【教科書・参考書】

【教科書】 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）  
市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）  
細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）  
藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院）  
矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）  
【参考書】 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院）  
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）  
大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）\*  
三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニク（第2版）」（医歯薬出版）\*  
山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店）  
赤川安正ほか編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）  
石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）  
赤川安正ほか編：「よくわかる口腔インプラント学（第4版）」（医歯薬出版）\*  
古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店）  
森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）  
佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学」（永末書店）  
（\* 印は4年次に購入指示予定）

## 【教育（学習）方略（LS）】

授業はスライドを中心に適宜板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。  
Weekly Test では1回の授業につき、3問～4問出題する。

## 【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

## 【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・定期試験：65%
- ・受講態度：5%
- ・Weekly Test：30%

欠席は特別な理由がない限り認めない。欠席回数は大きく成績に反映させる。  
前期と後期はそれぞれ評価し、最終成績は両者を勘案して決定する。

#### 【注意事項】

1. 欠席は特別な理由がない限り認めない。一部日程が変則的になっている箇所があるため、講義時に配布する受講上の注意と学生イントラを常に確認すること。
2. 教科書は次年度以降も講義・実習で使用するので指定したものを必ず購入すること。参考書は必要に応じて購入・図書館で閲覧すること。
3. 科目としては全部床義歯補綴学であるが、前期は歯科補綴学総論について学習する。その内容を踏まえて後期は全部床義歯補綴学について学習する。
4. 3年次に学習する歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学のいずれの内容も、4年次に開講する部分床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学・歯科補綴学実習Ⅰ・Ⅱに関連する内容であるため3年次のうちに理解するように努めること。

#### 【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分)

復習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。(45分)

#### 【オフィスアワー】

講義終了時から当日17：30まで

樋口大輔、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、菅沼岳史：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室

鷹股哲也：本館2階北棟 共同教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

## 【授業日程】

全部床義歯補綴学				
第3学年（前期・後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月8日(月) 2時限	歯科補綴学総論1 歯科補綴学序論	医療における歯科補綴学の臨床的意義と学問体系を説明できる。 補綴歯科治療の目的、臨床的意義について説明できる。 欠損補綴の意義を説明できる。 欠損補綴処置の多様性を説明できる。 回復すること、維持することの重要性を説明できる。	樋口 大輔
2	4月15日(月) 2時限	歯科補綴学総論2 顎口腔系の形態と機能	顎口腔の解剖学的形態について説明できる。 顎口腔の機能について説明できる。 咬合に関連する顎口腔系の各構成要素について、その形態と機能を関連づけることができる。	黒岩 昭弘
3	4月22日(月) 3時限	歯科補綴学総論3 咬合に与する基準点・平面 下顎位・下顎運動	下顎運動分析に用いられる基準点・基準面について説明できる。 補綴歯科治療に必要な基準点・平面についてその臨床的意義を関連づけることができる。 顎関節と咬合の関係を説明できる。 補綴歯科治療に必要な下顎位についてそれぞれ説明できる。 下顎運動を説明できる。 顎頭点と切歯点における下顎運動軌跡を説明できる。	菅沼 岳史
4	4月30日(火) 4時限	歯科補綴学総論4 咬合	顎口腔系における咬合の役割を説明できる。 咬合の維持と回復の重要性について説明できる。 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係について、下顎運動と関連づけて説明できる。 咬頭嵌合位における咬合接触について説明できる。 偏心位における咬合接触（咬合様式）を、有歯顎および無歯顎に分類できる。 正常有歯顎者における咬合の特徴を説明できる。	菅沼 岳史
5	5月13日(月) 2時限	歯科補綴学総論5 顎口腔系の形態と機能の変化	歯の欠損に伴う顎口腔の変化について説明できる。 歯の欠損を生じる因子について説明できる。 顎口腔系の加齢変化を説明できる。	吉田 裕哉
6	5月20日(月) 2時限	歯科補綴学総論6 補綴装置の概要 補綴装置の要件	歯冠補綴装置（クラウンおよびブリッジ）の種類、特徴、目的を説明できる。 可撤性有床義歯（部分床義歯および全部床義歯）の種類、特徴、目的を説明できる。 口腔インプラントの種類、特徴、目的を説明できる。 補綴装置の生物学的・機能的・力学的・審美的・材料学的要件を説明できる。 欠損補綴の意義を説明できる。 欠損補綴処置の多様性を説明できる。	樋口 大輔
7	5月27日(月) 2時限	歯科補綴学総論7 補綴歯科診療における診察・診断・検査 治療計画立案 口腔関連 QoL と補綴臨床判断	補綴歯科治療における診察・診断・検査について説明できる。 治療計画の立案方法を説明できる。 歯科補綴学に必要な診断基準を説明できる。 欠損歯列患者の病態と口腔関連 QoL について説明できる。 補綴歯科治療の選択に関する臨床判断について説明できる。	樋口 大輔

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	6月3日(月) 2時限	歯科補綴学総論8 補綴歯科治療計画を左右する因子	補綴歯科治療における診察・診断について説明できる。 治療計画の立案方法を説明できる。 歯科補綴計画を左右する因子を説明できる。	吉田 裕哉
9	6月10日(月) 2時限	歯科補綴学総論9 顎関節症	顎関節症の症状、病態および疫学的特徴を列挙し、 発症メカニズムについて説明できる。 顎関節症の治療法を概説できる。	吉田 裕哉
10	6月17日(月) 2時限	歯科補綴学総論10 口腔機能と非機能的運動	顎口腔の機能について説明できる。 ブラキシズムが顎口腔系にもたらす障害について説明できる。	吉田 裕哉
11	6月24日(月) 2時限	歯科補綴学総論11 スポーツ歯科医学	スポーツ歯科医学の意義について説明できる。 スポーツドクターの役割について説明できる。 スポーツマウスガードの目的と機能を説明できる。 歯の外傷について説明できる。 スポーツ選手と歯科の関係について説明できる。	鷹股 哲也
12	7月1日(月) 2時限	歯科補綴学総論12 咬合器	上下顎の顎間関係を説明できる。 顎間関係記録する下顎位と顎間関係記録の採得法を説明できる。 咬合器の使用目的と分類について説明できる。 下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 咬合器の種類と特徴を説明できる。	吉田 裕哉
13	7月8日(月) 2時限	歯科補綴学総論13 顎間関係記録	咬合器装着および咬合器の調節方法について説明できる。 フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。 前方基準点・後方基準点を説明できる。	吉田 裕哉
14	7月16日(火) 2時限	歯科補綴学総論14 問題演習	これまで学習した項目についての知識を確かなものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏
15	8月19日(月) 2時限	歯科補綴学総論15 歯科補綴学総論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉
16	9月9日(月) 2時限	全部床義歯補綴学1 全部床義歯補綴学概論 全部床義歯製作過程概要	無菌顎の病態を説明できる。 全部床義歯の構成要素について説明できる。 全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
17	9月24日(火) 2時限	全部床義歯補綴学2 無菌顎の解剖学的事項	無菌顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 全部床義歯の維持安定と離脱に関与する筋を説明できる。	吉田 裕哉
18	9月30日(月) 2時限	全部床義歯補綴学3 無菌顎患者の診察・診断 前処置	無菌顎の病態を説明できる。 全部床義歯の製作に際して必要な前処置を説明できる。	吉田 裕哉
19	10月7日(月) 2時限	全部床義歯補綴学4 無菌顎の印象採得	概形印象採得と精密印象採得を説明できる。 既製トレーと個人トレーの違いを説明できる。 筋圧形成の目的と関わる筋肉を説明できる。 印象材の種類と適応を説明できる。 研究用模型と作業用模型の製作法を説明できる。	吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
20	10月16日(水) 2時限	全部床義歯補綴学5 無歯顎の顎間関係記録1 咬合器装着	咬合床の役割を説明できる。 リップサポートと仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 垂直的・水平的顎間関係の決定方法を説明できる。 咬合床に記入する標示線を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉
21	10月21日(月) 2時限	全部床義歯補綴学6 無歯顎の顎間関係記録2	ゴシックアーチ描記法を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉
22	10月28日(月) 2時限	全部床義歯補綴学7 前歯部人工歯選択と排列	人工歯の種類と材質を説明できる。 前歯部の人工歯選択方法を説明できる。 基本的な前歯部人工歯排列方法を説明できる。	吉田 裕哉
23	11月7日(木) 2時限	全部床義歯補綴学8 全部床義歯の咬合	有歯顎と無歯顎の咬合様式の違い説明できる。 全部床義歯に付与する咬合様式を説明できる。	吉田 裕哉
24	11月11日(月) 2時限	全部床義歯補綴学9 臼歯部人工歯選択と排列	人工歯の形態的な分類を説明できる。 臼歯部の人工歯選択方法を説明できる。 基本的な臼歯部人工歯排列方法を説明できる。	吉田 裕哉
25	11月18日(月) 2時限	全部床義歯補綴学10 歯肉形成 ろう義歯試適	歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。	吉田 裕哉
26	11月25日(月) 2時限	全部床義歯補綴学11 埋没・重合 咬合器再装着 咬合調整	レジンてん入法・重合法について説明できる。 各種フラスク埋没法について説明できる。 咬合器再装着の意義と方法について説明できる。 削合の手順について説明できる。 義歯床研磨の目的を説明できる。	吉田 裕哉
27	12月2日(月) 2時限	全部床義歯補綴学12 義歯装着と患者指導	義歯装着時の診察・検査項目・手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	吉田 裕哉
28	12月9日(月) 2時限	全部床義歯補綴学13 術後管理	装着後の生体と義歯の変化と管理について説明できる。 リライン、リベースについて説明できる。 義歯破損と修理について説明できる。	吉田 裕哉
29	12月16日(月) 2時限	全部床義歯補綴学14 さまざまな義歯	即時義歯、治療用義歯、移行義歯について説明できる。 金属床による全部床義歯の特徴、製作法について説明できる。	吉田 裕哉
30	1月6日(月) 2時限	全部床義歯補綴学15 全部床義歯補綴学 講義総括 問題演習	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉 霜野 良介 平井博一郎 吉野 旭宏